

たかさご新聞

高砂大学校同窓会創立60周年
記念事業準備委員会 発足

高砂大学校同窓会は来年で60年の節目を迎えることとなりました。

昭和38年12月3日に開校した高砂大学校第1期の入学者は69名でスタート。昭和39年3月17日の第1期高砂大学校修了生は59名でした。それを受けて私達の本同窓会は1969年（昭和39年）5月12日に発足しました。

昭和41年3月に現在の同窓会バッジを制定。
昭和46年、第1期高砂大学院開校し入学者は140名。翌1月に大学院修了式が行われ修了生は122名でした。

その後のおもな歩みを拾ってみると、第1期高砂大学校大学院を高砂大学校発足から8年後の昭和46年9月17日に開校され現在の大学校、大学院が動き出しました。

昭和54年8月には第1回交流のつどい演芸大会、10月には第一回運動会が開催されています。

昭和58年10月には創立20周年記念式典と記念誌（20年のあゆみ）を発刊。
それ以後、10年ごとに記念式典並びに記念誌の発刊が行われてきています。

平成5年4月に第1回リーダー研修会を兵庫県加古川市いなみ野学園で行われ以後平成24年まで20年間、毎

年実施されていきました。

平成13年4月、現在の金沢市中央公民館彦三館が新しく開館しています。

それからの後には、平成7年阪神淡路震災支援活動、平成10年には看護学校実習体験活動がスタート、能登地震災害義援活動、東日本大震災義援活動に取り組んできています。

平成15年には節目となる創立50周年式典並びに記念誌「高砂のあゆみ」を発刊しています。

平成22年武蔵地下ショウケー・ス同窓会作品展を開始。

平成25年8月末、創立周年を記念して台湾研修旅行を実施しました。

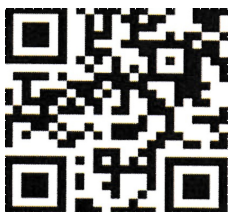
これまでの大きな流れの中に現在が続いており創立60周年を迎える節目となります。

来年度の60周年に向けて記念事業を実施するべく先日、5月12日に第1回記念事業中に委員会を立ち上げることができました。

委員長を山本省三氏にお願いし、委員にはこれまでの同窓会活動に大きく寄与されている方々に依頼、現役員からも委員に加わり次の方々に今後の準備を担っていただくことになりました。

会合では、自己紹介の後、今後の会議の進め方を協議、これまでの創立記念事業に

発行
高砂大学校同窓会
会長 小野 隆
〒920-0901
金沢市彦三町1-15-5
金沢中央公民館2F
TEL (076) 261-8101
FAX (076) 261-8149
(HP) http://www.takasagoob.net



QRコードで
ホームページへ

向けて準備された山本委員長の膨大な資料、高砂大学校同窓会記念誌「高砂のあゆみ」編集対比表をもとにこれまでの経緯を再確認。記念事業関係予算の過去の資料を準備しそれらをもとに予算をも検討することになりました。

委員は次の方々です。
委員長 山本省三
委員 小坂 進
委員 藤堂昭雄
委員 小室忠男
委員 宮本房義
委員 高田 進
委員 瀨戸俊一
委員 太田 衛
委員 吉田栄子
委員 小野 隆
委員 泉屋和雄
委員 増田健一
委員 関戸硬一
委員 高本 昇
委員 田中清之
委員 西本幹夫
委員 堂前良作
委員 石野隆義
委員 山本省三

「高砂らしくピアノ
クラブ」に入って
111期2組
坂田 毅

平成30年、高砂大学終了後何かクラブに入りたいと勧誘ボスター巡りをしていると、これから立ち上げようとしているクラブが、体験生を募集していた。

「未経験の方でも「らしく」ピアノを弾くことが出来る教室です。」とのキャッチコピーに釣られて、妻と共にふらふらと教室に足を踏み入れた。

机にはキーボードが置いてあり、渡された楽譜には音符にドレミの読みと指番号が付いていた。

指番号の通りに鍵盤を弾くと曲が弾けるようになっていた。

「この教本（楽譜）の見開きには「この本と出合ったその日からあなたはピアノの達人に！」又「この本はよく知っている曲でステップアップができます。」と書かれている。確かに♪さくらさくら♪夕焼け小焼け♪テネシーワルツ♪エデンの東♪エリーゼのために♪昂など童謡、映画音楽、クラシック、歌謡曲までいろんなジャンルの曲が網羅され

ている。さすがにその日から達人に、とはいかなかったがあれから4年、男性5名女性14名の会員は毎月第一第三火曜の9時半から11時半の2時間、笠間先生のもと和気あいあいとみっちりレッスンに励んでいる。

内容は最初に合奏曲の練習、次に各自が自分の好きな曲の練習をと、生きがい演芸発表会、教室内のクリスマスミニコンサートに向けて頑張っている。

が上達には家での練習が欠かせない事を忘れてはならない。

入会待ちの方が5、6名おられるが10名ぐらいになれば第二教室も考えねば、と先生も言っておられる。

とにかく自分でキーボードの持ち運びが出来、意欲のある方はどしどし入会申込書を書いてほしい。

最後にピアノの効能として次のように言われている。「ピアノを弾いているとき、あなたの脳はフルスピードで回転しています。

脳は様々な領域が活性化され、長期的に脳に良い影響を及ぼします。ピアノほど脳に良い習い事はありません。」

南信州・東美濃の旅行
生きがい会
104期3組 舘 洋一

久しぶりの一泊旅行。平成31年4月、平成最後の月以来です。3年振りの旅行です。

でもコロナ対策ということでバスの定員の半分22名で出発です。旅行と言えど天気。

天気が良ければ半分成功

したようなものだが、最近よく当たる天気予報は雨模様・・・。

雨雲が低く立ち込める中、東海北陸道で岐阜県へ。恵那の山菜園で昼食をとり、妻籠宿から長野県の馬籠宿へ。

地域クーポンは長野県でしか使えないとあって馬籠では栗きんとんなどのお土産をたくさん買いました。

今日のお宿は、昼神温泉湯元ホテル阿智川。

昼神温泉は国鉄中津川線の建設中に発掘され、線路の建設は中止となったが、温泉は湯量も豊富で南信州随一の温泉地として繁栄している。

ホテル阿智川は建設途中のトンネルを洞窟風呂として利用している。

夕食はコロナ禍の椅子席でひっそり？姦しい？和気藹々でした。残念ながらカラオケはNG。

翌日は、飯田元善光寺、名前のとおり元祖善光寺で、長野の善光寺と飯田の元善光寺の両方をお詣りしない「片詣り」であると昔から云われています。

今年は長野も飯田も御開帳で生きがい会では七年前の御開帳の長野善光寺をお詣りしており、両寺をお詣りし御開帳に巡り会ったので、素晴らしい功德が得られることでしょう。

次は日本大正村、現地ガイドさんの案内は熱心・ねんごろな説明で時間オーバー。大正ロマン館では村長三代、高峰三枝子、司葉子、竹下景子さんの銅像やパネルに出会いました。

最後の訪問地は、名もなきモノの池。湧き水で出来た池で透明度が高く池の底が見え、睡蓮と錦鯉がモノの絵画を彷彿とさせます。心配された天候も予報は良い方にはずれ、傘の出番は妻籠だけで二日目には太陽も拝めました。

バスガイドさんは口癖か、よく「ほぼほぼ」と言っていた。ガイドさん流に言えば今回の旅行は、ほぼほぼ大満足であった。



信州・美濃バス旅行

B歴史会5月月例会
「微軫」灯籠の「謎」を解
きほぐすを拝聴して
高砂大学院OB歴史会
会長 藤堂昭雄

コロナ禍で延び々になっていた兼六園の「ことじ灯籠」の講演が実施された。今やことじ灯籠は兼六園を訪れる観光客の誰もがカメラをかまえる人気のビューポイントの一つである。

講演者の加藤先生（元金沢城・兼六園管理事務所所長）は過去のことじ灯籠と今のことじ灯籠を比較して何故そうなったのかを史料に基づき、私見を交えて解説された。

まず、①灯籠の設置に関して（何時設置したのか、誰が灯籠を献上したのか）

②灯籠の変化に関して（何時片脚が短くなったのか、何故短くなったのか、誰が片脚を短くすることにしたのか）

③灯籠の名称に関して（何時「微軫」の漢字を使うことになったのか、何故その漢字を使うことになったのか、誰がその漢字を使うことになったのか）の三つに分けて説明された。

我々、金沢に住んでいる者にとつては昔から見慣れた風景であり、改めて考えたこともないテーマであったが、元々ことじ灯籠は両脚均等の長さであったり、脚の向きが虹橋と平行であったりしたがこれらを位置の変化、形状の変化、向きの変化等幾多の変遷を経て、現在の姿になったとのことであった。

特に「微軫」の文字について解説は、中国の故事にある夕顔亭の手水鉢にある伯牙断琴の故事を連想させるものであった。

結論的には加藤先生は現在の姿になったのは13代藩主斉泰の意向とした。斉泰は石川県の依頼を受けて、明治天皇の北陸行幸に合わせ、ことじ灯籠を自分の好みに合わせて手を加えたとした。

ただ斉泰は行幸の際に天皇を徒歩で園内を案内し、灯籠を見せよう意向が当日、天皇のスケジュールが混み合い、時間がなくて馬車で園内を廻ったとのことであった。

さぞかし斉泰は臍を噛む思いであっただろう。これから「ことじ灯籠」

を見る時は齊泰の思いを汲んで見ることにしたい。

OB歴史会探訪旅行「能登を訪ねて」に参加して

OB歴史会
114期2組
清水 和雄

金沢に生まれ育った自分には今回の歴史探訪バス旅行は大変有意義な一日でした。

5月12日、総勢60名が2台のバスに分乗し、金沢駅を出発しました。天候にも恵まれ、心配していた雨は殆ど影響なく全行程を無事終えました。

歴史にあまり興味がなかった私は金沢のことは勿論、石川県内の各地の歴史的なことは表面的なことしか知らず、今回の旅行に参加して初めて深く理解することができました。

予めバスの中でOB歴史会の旅行担当から今回の訪問地の概要説明を受け、予備知識を得て七尾城址に到着しました。

七尾城址では能登畠山氏の由来や小丸山城との関係、日本の五大山城に数えられるスケールの大きさなどを歩いて体験しながら現地ボランティアガイドの巧みな話術に引き込まれて聞き入っていました。

県民割を活用した能登食祭市場では昼食のご馳走に舌鼓を打ちながら同級生と昔話が出来た事も楽しいひと時でした。

食後の眠気とバスの心地

よい揺れを感じながら門前の曹洞宗大本山総持寺祖院に到着。

ここは個人的に見学してもなんとなく見て回るところを要所々で説明があり、祖院となった経緯も理解できました。

最後に黒島天領北前船資料館ではガイドの詳しい説明があり、往時の隆盛が偲ばれるものでした。

OB歴史会のスタッフのてきぱきとしたお世話もあり、楽しい旅行となりました。

次回も是非参加したいと思います。

「歩の『歩のクラブ』」

5月例会

《古代の里 史跡探訪》113期 紙谷登起子

5月12日絶好のお天気に恵まれ朝九時、野々市駅まで電車で二駅。準備運動後、前後に役員の持つ「歩の『歩のクラブ』」の旗に見守られ出発です。参加者は、約90名盛会となりました。

横江郷の総社として栄えた「宇佐八幡神社」を通り、「白山イオンモール」でトイレ休憩です。

次に歩いた先は国史跡「東大寺領横江荘遺跡」。

奈良・平安時代の遺跡で、何棟もの掘立建造物跡と大量の土器が出土し、国の史跡に指定された場所です。

この史跡が縁で、白山市北陽小学校の児童が古代米を栽培し東大寺へ寄進する事となったと新聞報道があり、あゝ、あの場所の事だと目に浮かびうれしく思いました。

次の「上荒屋史跡公園」で一息。

ここは金沢市だが、先の白山市の横江荘遺跡と関連する施設で荘園管理施設、運河跡などが整備されています。

暑くなり始めたところでのほっとする休憩でした。帰りの電車時間の関係でゆつくりできず、次の目的地「御経塚遺跡」へ。

ここは県下最大の縄文時代の村の跡。竪穴建物、石で囲った炉などが発見され、それらが復元整備されており、縄文時代という大昔の人々の生活を想い、現在の便利さをかみしめるひと時でした。

予定の電車にも間に合い、午後から雨との天気予報の中、なんとか降られず無事終了。

翌日の北國新聞には元気に歩く会員の姿が掲載されていました。

先人たちの古代の暮らしぶりに思いをはせながらのウォーキング、お疲れ様でした。

「お城と様々な門構」歴史会自主研究発表会

105期1組
西尾欣一

今年度最初のOB歴史会自主研究発表会は5月19（木）第2研修室で約20名の聴衆を集めて行われました。

今回は、109期2組の藤島寛仁さんが標記の題で発表されました。門の種類については、その特徴や用途によっていろ

いろと分けられているが、主なものとしての櫓門、薬医門、高麗門、長屋門について説明する。

櫓門は石垣と石垣の載った渡櫓とその下にある門で構成され、最も格式が高く、厳重な門です。

金沢城の石川門、河北門、橋爪門のそれぞれの二の門はいずれも櫓門で重厚な造りとなっています。

薬医門は平屋建ての門で主柱2本と控柱2本に屋根を付けた構造です。

正面側の軒を長くして城内からの視界が遮られるため、防御より格式を重んずる場所に使われています。

高麗門も平屋建ての門ですが、薬医門の欠点を正すため主柱（鏡柱）とは別に控柱にも小さな屋根を掛けたものです。

金沢城三御門の一の門はいずれも高麗門です。

長屋門は長屋の一部を城門としたもので、御殿や家臣の屋敷、土蔵の入口として使われており、長町武家屋敷の新家邸は観光地の象徴としてよく知られています。

これら以外の門の説明や大名屋敷は格式によつて形式が全く異なっていた等の話がなされた後、会員の中から、城郭建築より寺院建築の方が先行していたのではないかと各自の意見等活発な発言がありました。

専門的な話でも画像を使い視覚による説明は大変分かり易く、この発表会に参加することで歴史への興味が沸くので、皆さんの参加をお勧めします。

人生百年生になろう！幸福寿命を延ばそう高砂令和仲良し会106歳期1組 坂下 啓子

4月25日（月）「高砂令和仲良し会」の総会を大研修室で開催し、出席された会員86名を前に上記の演題で木下幸子様に講演をして頂きました。

「健康寿命」と言うフレーズはよく聞きますが、「幸福寿命」は耳慣れない言葉でした。

まず、健康寿命とは健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活出来る期間であり、幸福寿命とは脳内物質ドーパミンとセレトニンの分泌により幸福感が生まれ、幸せを感じていられる期間だそうです。

講演では幸せホルモンといわれるセロトニンが、どうすれば分泌されるのかをパワーポイントを使って時々笑いも誘いながら、くわしく説明して下さいました。

私が「へーそうなんや！？」と驚いたのは、日課のフレイル予防に行っている「スクワット」が筋肉からマイントカインというホルモンが出て血糖値や血圧が下がるということ。

骨粗鬆症予防の「かかとおとし」が、脳内から幸せホルモン、セロトニンが出るということです。

幸福とは、趣味や目標をもち、身体を動かす。仲間と語り合い笑う。

1人では幸福になれない！高砂令和仲良し会や、他の高砂同窓会クラブでの活動、旅行など、楽しく参加

することで幸福寿命が延びることがわかり嬉しくなりました。素晴らしい講義ありがとうございました。

高砂寿雪書道会について

114期1組
田中 清之

当書道教室は、木曜日午前・午後、土曜日午前・午後と5教室にて、本年新会員6名を受け入れて73名にて構成されています。

講師は、阿部寿雪（書道家）の両先生に指導していただき1時間45分の授業です。

各自持参する物は、硯・筆・下敷。墨汁・半紙・文鎮・水少量・新聞紙4、5枚等、用意出来ないものは、講師より購入できます。課外活動授業として、本年度のスタート4月3日（日）高岡市国泰寺の小旅行を実施しました。

この記事は「たかさご新聞」5月号で源田孝子さんが記載しています。

4月11日（月）には21世紀美術館で現代美術展で、団体鑑賞を阿部豊寿講師の説明により会員有志27名にて実施、阿部寿雪・阿部豊寿の作品及び当会員入選6名の作品を紹介し説明を頂きました。

今後の行事として7月に石川の墨展（21世紀美術館）にて会員有志が出展し団体鑑賞の実施を予定しています。

9月には、阿部豊寿講師の世界平和への祈りとしての奉納揮毫を石川護国神社で実施予定されています。



作品発表会に向けて

8月1日・2日、同窓会主催作品発表会には、会員全員の作品を展示致し同窓会の皆様に披露する機会です。

又、武蔵ヶ辻地下道（クロスピア広場）展示スペースに2ヶ月毎入替にて会員の作品を展示・市民に自作をアピールするチャンスですなど、有意義な月日を人生の楽しみとして書が続けたいと想います。

書に関心の方は、是非一報ください。

きつかけ

113期3組
西本幹夫

私が、ピアノを始めたきっかけは、2年半前に、かどや音楽教室の体験入学でした。歌うことで、持病のアレルギーぜんそくが少しでも良くなればと思った。

笠間先生の進めもあって入学することを決めました。

先生は、病院、施設などで、音楽療法を組んだピアノ演奏によるセラピーコンサートをされています。現在、私はぜんそくの薬の服用はありません。

歌教室へ通い始めてから、ピアノが弾けたら楽しいだろうなと思ひ、らくらくピアノ教室へ入会しました。

今は、少し弾けるようになりましたが、夢は広がります。

弾き語りに挑戦しようとして、笠間先生のソロレッスンを受けています。簡単には、いきません。

ある日、コンビニで買った小冊子の中に、ある学習塾に「人生の勝利の方程式七ヶ条」が載っていました。

第1条、自分から挨拶する。

第2条、“マイナス発言”は、口にしない。

第3条、「お願いします」の気持ちで取組む。

第4条、自分の能力・可能性を「限界ライン」を引かない。

第5条、高い目標を掲げ、地道な努力やめない。

第6条、全てのことに感謝地心を持つ。

第7条、他人を喜ばせる、幸せにすることが自分の幸せだと考える。

今の自分の能力・可能性を試してみようと考えました。成功した時のイメージをすることが大事と言われます。何かワクワク感が湧いてきました。

8月実施行事

8月1日(月)2日(火)

第40回
作品発表会

8月30日(火)
第2回クラス会長

会議
いずれも彦三館にて